



Microsoft SPO与Webベース開発の機能比較

時：202XXX



目録 CONTENTS

01 機能範囲

02 アジャイル対応

03 カスタマイズ性

04 コラボレーション

05 セキュリティ

06 コスト

07 インテグレーション

08 レポート分析

09 デプロイ形態

10 機能比較

01

機能範囲

Microsoft SPO

SharePoint Framework (SPFx) の特徴

SharePoint Framework (SPFx) はクライアントサイド拡張を可能にし、React/AngularベースのモダンWebパーツ開発を実現する。
例として、在庫管理ダッシュボードのカスタム実装が可能で、柔軟なビジネスニーズに対応できる。

ドキュメントバージョン管理の強み

ドキュメントバージョン管理機能が充実しており、最大50,000件のバージョンを管理できる。
これにより、ドキュメントの変更履歴を詳細に追跡し、過去のバージョンへの復元も容易に行える。

Azure DevOps連携の可能性

Azure DevOpsとの連携が可能で、CI/CDパイプラインの統合を支援する。
ただし、連携には一定程度の設定が必要で、専門知識を必要とする場合がある。

『Webベース開発

01

Jiraの機能範囲



Jiraは要件管理からCI/CDパイプライン統合までを網羅し、開発プロセス全体を効率化する。例として、優先度「高」の課題をスプリントに自動追加する条件ベースの自動化ルールを設定できる。

02

GitLabの統合機能



GitLabはコードレビューとテスト自動化を統合し、DevOpsの効率を大幅に向上させる。
.gitlab-ci.ymlファイルでパイプラインを定義し、コンテナビルドからE2Eテスト、AWSデプロイまで自動化できる。

03

技術的根拠の強み



技術的根拠が明確で、最新の開発トレンドに迅速に対応できる。
例として、GitHub ActionsやDatadog/Sentryなどのツールとの連携が容易で、高度な開発環境を構築できる。



The background is a dark blue gradient. It features a faint, high-angle photograph of a hand operating a calculator. The hand is positioned on the right side, with fingers pressing keys. The calculator is light-colored, possibly white or light grey, and its keypad is visible. In the top-left corner, there is a partial view of a blue circular shape. In the bottom-right corner, there is a larger blue circular shape with a smaller, solid blue circle inside it.

02

アジャイル対応

Microsoft SPO

Power Automateの活用

Power Automateを活用してカスタムワークフローを構築し、ビジネスプロセスを自動化する。例として、タスクのステータス変更に応じて自動的に通知を送信するワークフローを設定できる。



アジャイル開発の柔軟性

アジャイル開発に柔軟に対応できるが、完全な自動化には一定程度のカスタマイズが必要な場合がある。

Azure Boardsの連携

Azure Boardsと連携してスクラムを実装し、アジャイル開発を支援する。例として、スプリントバックログを自動生成し、チームの開発進捗を効果的に管理できる。

Webベース開発

01

Jiraのアジャイル機能

Jiraはスプリントバックログを自動生成し、アジャイル開発を効率化する。

例として、IssueとPull Requestを自動リンクし、開発プロセスを一貫性のあるものにする。

02

GitHub Projectsの統合

GitHub Projectsを活用してIssueとPull Requestを自動リンクし、アジャイル開発を支援する。

例として、開発チームがIssueの進捗をリアルタイムで把握し、効果的なコミュニケーションを促進できる。

03

アジャイル開発の効率化

アジャイル開発を効率化するための機能が充実しており、開発チームの生産性を大幅に向上させる。

03

カスタマイズ性

Microsoft SPO



SPFxによるカスタマイズ

SPFxを活用してReactベースのWebパーツを開発し、SharePointサイトをカスタマイズする。例として、独自のダッシュボードやアプリをサイトに組み込むことで、ビジネスニーズに合った環境を構築できる。



Design Managerの制限

Design Managerを使用してマスターページやページレイアウトをHTML/CSSで直接編集できる。
ただし、デザインテーマのカスタマイズはDesign Managerに限定され、柔軟性に制限がある場合がある。



カスタマイズの柔軟性

カスタマイズ性は高いが、一部の機能に制限があるため、完全な自由度を得るには工夫が必要な場合がある。

『Webベース開発

Jiraのノーコードカスタマイズ



Jiraはノーコードでカスタムフィールドやワークフローを作成し、柔軟なカスタマイズを実現する。
例として、プロジェクトのニーズに応じて独自のフィールドやワークフローを簡単に追加できる。

Redmineの拡張性



Redmineは4000以上のプラグインを提供し、機能を大幅に拡張できる。
例として、プロジェクト管理やバグトラッキングなど、多様なニーズに対応するプラグインが利用できる。

カスタマイズの柔軟性



カスタマイズ性が非常に高く、開発チームのニーズに柔軟に対応できる。



04

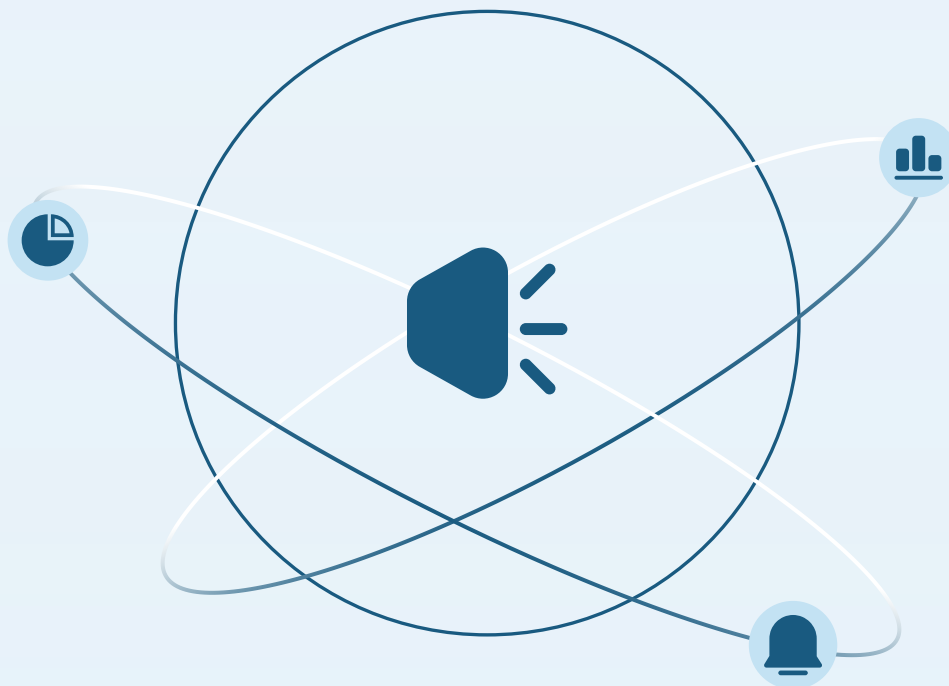
コラボレーション

Microsoft SPO

Teams会議とファイルの連携

Teams会議とSharePointファイルを同時編集できるため、コラボレーションを効率化する。

例として、会議中にリアルタイムでファイルを編集し、チームのコミュニケーションをスムーズに促進できる。



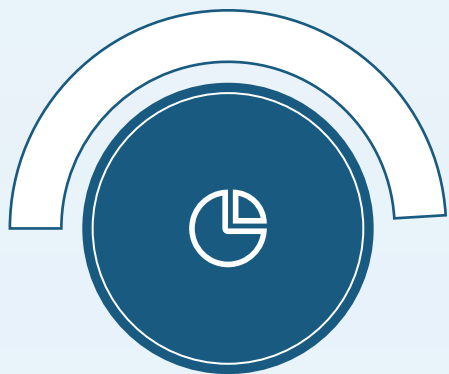
コラボレーションの強み

マイクロソフト製品との連携が強いため、既存の環境でシームレスなコラボレーションを実現できる。

タスク内コメント機能の制限

タスク内コメント機能は未統合で、別途設定やカスタマイズが必要な場合がある。例として、タスク管理とコミュニケーションを一元化するには、追加の設定やツールの組み合わせが必要な場合がある。

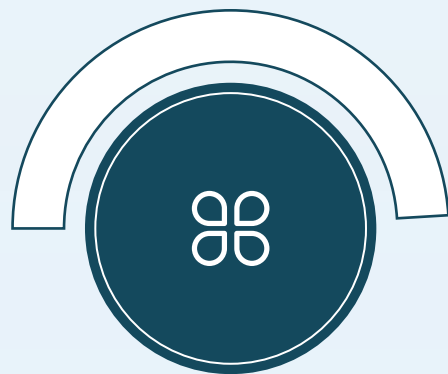
Webベース開発



GitLab MRでのコード差分討論

GitLabのMerge Request（MR）でコード差分を討論し、効果的なコードレビューを実施する。

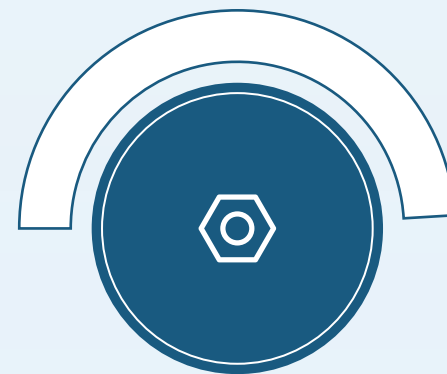
例として、コードの変更箇所を詳細に確認し、チームでレビューを進めることが可能。



Slack通知連携の強み

Slack通知連携を活用して、リアルタイムのコミュニケーションを促進する。

例として、コードのプッシュやMRの更新をSlackで通知することで、チームの連携を強化できる。



コラボレーションの柔軟性

コラボレーション機能が柔軟で、多様なツールとの連携が可能。

05

セキュリティ

Microsoft SPO

1 ファイルレベルDLPの強み

ファイルレベルのDLP（データロス防止）機能を提供し、機密データを自動的にブロックする。
例として、機密情報を含むファイルが誤って共有されないよう、自動的にブロックや警告を発する。

2 多要素認証の実装

Azure AD Conditional Accessを活用して多要素認証を実装し、高度なセキュリティを提供する。
例として、ユーザーのログイン時に複数の認証手段を要求することで、不正アクセスを防止する。

3 セキュリティの統合性

マイクロソフトのセキュリティソリューションと統合し、包括的なセキュリティ対策を実現する。



Webベース開発



ロールベースアクセス制御の実装

ロールベースアクセス制御（RBAC）を提供し、ユーザーのアクセス権限を細かく管理する。



SAML連携の設定

SAML連携を設定することで、シングルサインオン（SSO）を実現し、セキュリティと利便性を両立する。

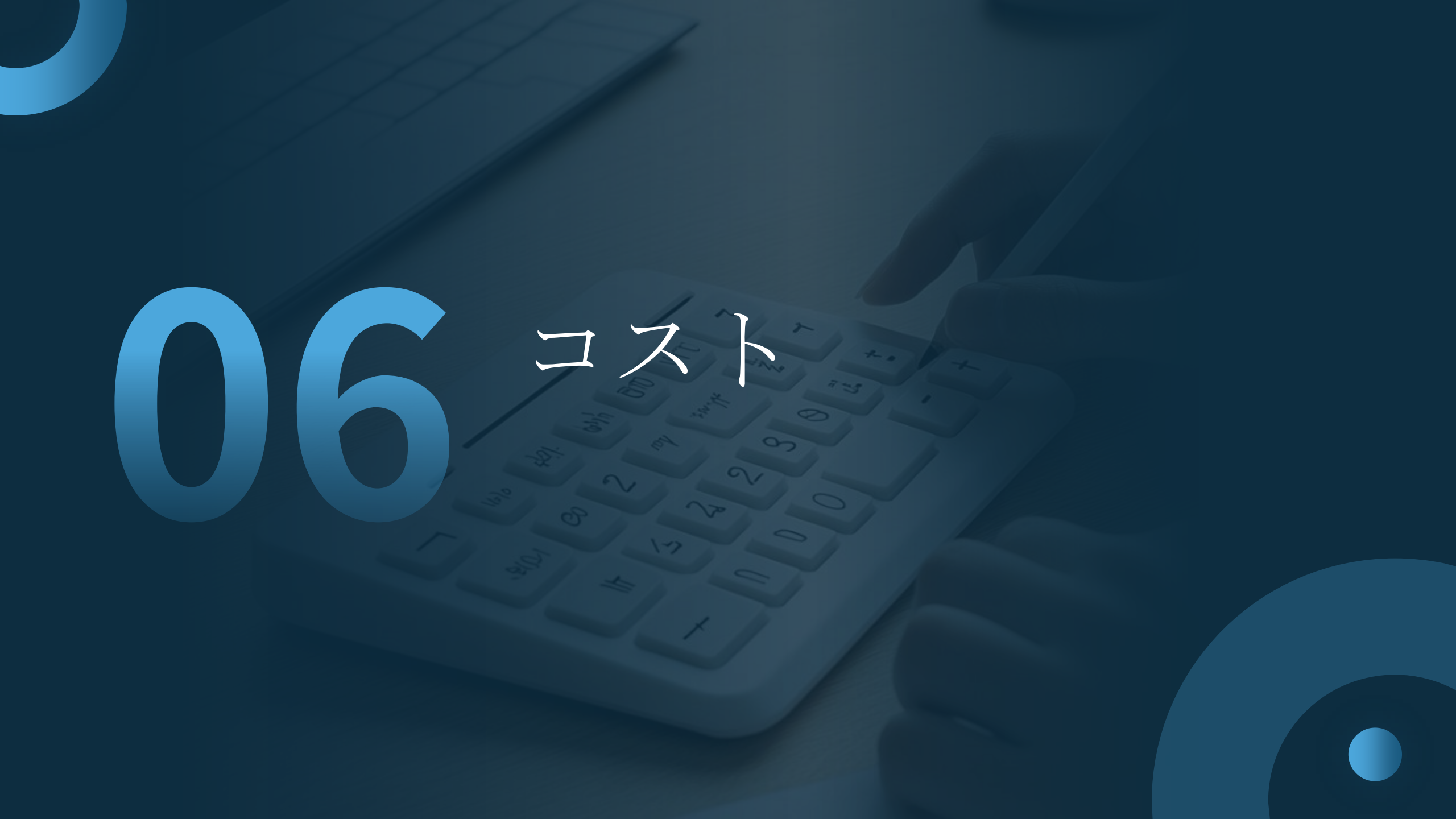


セキュリティの柔軟性

セキュリティ機能が柔軟で、多様なニーズに対応できるが、設定が必要な場合がある。



06 コスト



Microsoft SPO

Microsoft 365 E3プランのコスト

Microsoft 365 E3プランに含まれており、1ユーザーあたり月額\$20〜のコストがかかる。

例として、100GB超のストレージは別途課金され、大規模なファイル管理には追加コストがかかる場合がある。

クラウド専用のコストメリット

クラウド専用のため、オンプレミス環境の維持管理コストを削減できる。

例として、自動的なソフトウェア更新やバックアップなど、運用コストを低減する。

コストの包括性

サービス全体のコストが包括的で、追加機能やサポートも含めて予算を立てやすい。



『Webベース開発

Jira Cloudのコスト

Jira Cloudは10ユーザー以下で\$7.5/ユーザーのコストがかかる。
例として、小規模なチーム向けの低コストなプランを提供し、予算に応じた選択が可能。



オープンソース版の選択肢

オープンソース版（例：Redmine）が提供され、コストを大幅に削減できる。
例として、自社でカスタマイズや運用管理を担当することで、無償で利用できる。



コストの柔軟性

コストが柔軟で、ニーズに応じて選択できるが、サポートや機能拡張には追加コストがかかる場合がある。



07

インテグレーション

Microsoft SPO



Power BI埋め込みダッシュボード

Power BIを埋め込み、ダッシュボードをSharePointサイトに直接表示する。
例として、ビジネスデータをリアルタイムで可視化し、チームの意思決定を支援する。

Jenkins連携のカスタマイズ

Jenkins連携にはカスタムスクリプトが必要で、高度なカスタマイズが可能。
例として、独自のCI/CDパイプラインを構築し、開発プロセスを効率化する。

インテグレーションの強み

マイクロソフト製品との統合が強いため、既存の環境でシームレスなインテグレーションを実現できる。

Webベース開発

GitHub ActionsでのCI/CD自動化

GitHub Actionsを活用してCI/CDパイプラインを自動化し、効率的な開発を実現する。

例として、プルリクエストをトリガーに自動テストやデプロイを実行する。

Datadog/Sentry連携の強み

DatadogやSentryとの連携を容易にし、アプリケーションのモニタリングとエラー管理を強化する。

例として、リアルタイムでアプリケーションのパフォーマンスを監視し、エラーを迅速に検知する。

インテグレーションの柔軟性

インテグレーション機能が柔軟で、多様なツールとの連携が可能。





08

レポート分析

Microsoft SPO



Power BIでのカスタムメトリクス

Power BIを活用してカスタムメトリクスを作成し、ビジネスデータを詳細に分析する。

アクセスログ分析の範囲

アクセスログを分析し、90日間のデータを保持する。。

レポート分析の強み

マイクロソフト製品との統合が強いため、包括的なレポート分析を実現できる。

『Webベース開発ツール



Jiraのベロシティトレンド

Jiraはベロシティトレンドを自動可視化し、アジャイル開発の進捗を効果的に管理する。



SonarQube連携の強み

SonarQubeと連携してコード品質レポートを生成し、開発品質を向上する。



レポート分析の柔軟性

レポート分析機能が柔軟で、多様なニーズに対応できるが、設定が必要な場合がある。

The background is a dark blue gradient. It features a faint, high-angle photograph of a hand operating a calculator. The hand is positioned on the right side, with fingers pressing keys. The calculator is light-colored, possibly white or light grey, and its keypad is visible. In the top-left corner, there is a partial view of a blue circular shape. In the bottom-right corner, there is a larger blue circular shape with a smaller, solid blue circle inside it.

09

デプロイ形態

Microsoft SPO



クラウド専用の利点



クラウド専用のため、オンプレミス環境の維持管理コストを削減できる。
例として、自動的なソフトウェア更新やバックアップなど、運用コストを低減する。

グローバルCDNの自動適用



グローバルCDNを自動適用し、サイトのパフォーマンスを向上する。
例として、世界中のユーザーが高速でサイトにアクセスできるようにする。

デプロイ形態の強み



クラウド専用のため、シームレスなグローバル展開が可能で、運用管理が容易。

Webベース開発

ハイブリッドクラウドの対応

ハイブリッドクラウドに対応し、オンプレミスとクラウドの両方の環境を活用できる。

01

オンプレミス版（例：GitLab Omnibus）を提供し、企業のセキュリティ要件に対応する。

オンプレミス版の提供

02

デプロイ形態が柔軟で、ニーズに応じて選択できるが、設定や運用管理が必要な場合がある。

デプロイ形態の柔軟性

03



10

機能比較

『機能比較

項目	Microsoft SPO	Webベース開発
機能範囲	△ SharePoint Framework (SPFx) によるクライアントサイド拡張 ○ ドキュメントバージョン管理 (最大50,000件) △ Azure DevOps連携	◎ Jira : 要件管理→CI/CDパイプライン統合 ◎ GitLab : コードレビュー+テスト自動化統合
アジャイル対応	△ Power Automateでカスタムワークフロー構築可能 △ Azure Boards連携でスクラム実装可能	◎ Jira : スプリントバックログ自動生成 ◎ GitHub Projects : Issue→PR自動リンク
カスタマイズ性	○ SPFxでReactベースのWebパーツ開発 △ デザインテーマはDesign Manager限定	◎ Jira : ノーコードでカスタムフィールド/ワークフロー作成 ◎ Redmine : プラグイン (4000+) で機能拡張
コラボレーション	◎ Teams会議とSharePointファイルの同時編集 △ タスク内コメント機能未統合	◎ GitLab MR (Merge Request) でのコード差分討論 ◎ Slack通知連携
セキュリティ	◎ ファイルレベルDLP (機密データ自動ブロック) ◎ 多要素認証 (Azure AD Conditional Access)	○ ロールベースアクセス制御 (RBAC) △ SAML連携要設定
コスト	◎ Microsoft 365 E3プラン包含 (1ユーザー月額\$20～) △ 100GB超ストレージは別課金	△ Jira Cloud (10ユーザー以下 \$7.5/ユーザー) ○ オープンソース版あり (例 : Redmine)
インテグレーション	◎ Power BI埋め込みダッシュボード △ Jenkins連携要カスタムスクリプト	◎ GitHub ActionsでCI/CD自動化 ◎ Datadog/Sentry連携
レポート分析	△ Power BIでカスタムメトリクス作成要 ○ アクセスログ分析 (90日保持)	◎ Jira : ベロシティトレンド自動可視化 ◎ SonarQube連携でコード品質レポート
デプロイ形態	△ クラウド専用 (オンプレ不可) ○ グローバルCDN自動適用	◎ オンプレミス版提供 (例 : GitLab Omnibus) ◎ ハイブリッドクラウド対応

アジャイル開発では、
提供する価値実装に必
これを開発チームでど
して、ベロシティが扱
回のイテレーション (
の合計値です。簡潔に
化したものといえます